

ベタの飼い方

1 ベタについて



ベタは、エラの上皮が変形発達した「ラビリンス器官」で、空気中から直接酸素を取り入れることができます。だから、コップなどの水中でも、酸素が少ない環境でも、飼育することができるのです。

ーオス同士は一緒にしないで！ー

オスの闘争本能が強いため、オスを2匹一緒にすると、ヒレがボロボロになるまで闘います。原産地タイではこの性質を利用して「闘魚」が行われています。

2 ベタの飼い方

ベタは、空気中から酸素を取り入れることができるので、コップなど小さな容器でも飼えます。

直接日光の当たるところや、クーラーの風が直接当たるところなど、温度変化の激しいところには、置かないください。

冬場は、あたたかい部屋に置るか、ヒーターを使用して保温しましょう。

①まず容器を用意しよう

右のようなコップやビンの容器を用意します。

よく洗った小石やビー玉などを入れてもOK。



②水をいれよう

水道の水はカルキ(塩素)が入っていて、そのままでは使えません。

カルキ中和剤を必ず使用してカルキを抜いてください。

3 容器のお掃除

水替えは、月に2～3回を目安に必ず、カルキ中和剤をいれた水で行ってください。

フィルターを使用しているときは、月に1回を目安に、3分の1ぐらいの水量を入れ替えてください。

(おそうじのときは、決して洗剤は使わないでください。)

4 エサの与え方

1日に2～3回、ベタ1匹につき3～5粒を与えます。

食べ残したエサは、水を汚しますので取り除いてください。

※稚魚には稚魚専用飼料を1日2、3回にわけて、少しずつ与えましょう

5 繁殖に挑戦

オスとメスで相性が合えば簡単に産卵・ふ化します。

水面に泡の巣を作る独特の産卵行動を見ることができます。

卵と稚魚の世話はオスがしますので、産卵後はメスを水槽から取り出してください。



あわす
泡の巣

オスはメスを抱きかかえて産卵を促します。

